

## 観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和 6 年 4 月 30 日

### 1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人下仁田町観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 群馬県甘楽郡下仁田町	
所在地	群馬県甘楽郡下仁田町馬山 3766-11	
設立時期	平成 26 年 8 月 12 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	7 人【常勤 1 人（正職員 0 人・出向等 1 人）、非常勤 6 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 神戸 康宏 （出身組織名） 神戸土木（株） 代表取締役	日本大学大学院卒・工学修士 神戸土木株式会社・代表取締役 株式会社イーエーシー・代表取締役 地域の社会基盤及び情報基盤整備に長きにわたり従事。その経験を活かし、DMO として組織の健全化とそのマネジメントやマーケティング、「観光まちづくり」に取り組んでいる。 ロック・ギタリスト「エディ・ヴァン・ヘイレン」への造詣の深さは、世界的に有名である。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 津金澤 英美「専従」 （出身組織名） 観光協会	東京都出身。アメリカ・ボストンに短期留学後、都内企業に約 20 年勤務。宿泊施設及び飲食業界での接客業務、美術工芸品や食品製造に係る企画やプロモーションに従事。経理や総務のマネジメント経験もある。その多彩な経験を活かし、当協会業務に取り組んでいる。旅すること、食すること、動物と過ごすこと、自然の中で過ごすことが趣味である。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 野口 幸子（専従） （出身組織名） 観光協会	下仁田町出身下仁田町在住。下仁田町内及び隣接する富岡市の企業にて働きながら 3 人の子供を育てあげ、とても明るくパワフルな性格。PTAをはじめとした地域団体の活動にも積極的に参加していた経験と地域愛に満ちた志を当協会の事業活動に活かしている。休みの日は畑仕事もこなし、とてもアクティブな女性。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材）	（氏名） 津金澤 英美（専従） （出身組織名） 観光協会	同上

※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること		
各部門（例：旅行商品の造成・販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 津金澤 英美（専従） （出身組織名） 観光協会	同上
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	<p>下仁田町役場 商工観光課・商工観光係（マーケティング部門） 企画課・地域創生係及び地域振興係（社会資本整備・公共交通・移住定住等）</p> <p>群馬県 地域創生部地域創生課、地域創生部 ぐんま暮らし・外国人活躍推進課（総合アドバイス） 産業経済部 戦略セールス局 観光魅力創出課（イベント支援等） 農政部 農村整備課 中山間振興係（総合アドバイス） 環境森林部 自然環境課 自然公園活性化推進室 企画管理係（県立公園管理）</p> <p>群馬県甘楽富岡振興局 富岡行政県税事務所 総務振興係（総合アドバイス） 富岡森林事務所（県立公園イベント支援等）</p>	
連携する事業者名及び役割	<p>下仁田町商工会（情報提供と共有、イベントの共同開催） 下仁田町森林組合（情報提供と共有、イベントの共同開催） 下仁田町飲食店組合（情報提供と共有、イベントの共同開催） 下仁田町旅館組合（情報提供と共有、イベントの共同開催） 下仁田建築組合（移住定住・空き家バンク制度の事業連携） 下仁田まちづくり委員会（情報提供と共有、イベントの共同開催） （公財）神津牧場（情報提供と共有、イベントの共同開催） 道の駅しもにた（マーケティング、イベントの共同開催） 高崎経済大学井手拓郎ゼミナール（DMO 推進事業検討及びマーケティング） 下仁田ジオパーク協議会（企画と共同プロモーション） 下仁田町蒟蒻消費拡大推進協議会（体験ツアーと共同プロモーション） 上信電鉄株式会社（企画と共同プロモーション） 白石工業株式会社（展示会企画と共同プロモーション） （公益）群馬県観光物産国際協会（アドバイス、共同プロモーション） （一財）群馬県森林・緑整備基金（情報提供と共有、共同プロモーション） 群馬県コンベンションビューロー（情報提供と共有、イベントの共同開催） 西上州観光連盟（情報提供と共有、イベントの共同開催） 東急ハーベストクラブ（着地型観光企画と共同プロモーション） 株式会社 J T B 群馬支店（着地型観光企画と共同プロモーション） 利根川ネットワーク（首都圏事業者との連携） 東日本高速道路株式会社（NEXCO 東日本）関東支社高崎管理事務所（情報提供と共有、イベントの共同開催） 高崎商科大学地域連携センター（産学連携・観光の共同研究及び企画） 富岡市世界遺産観光部観光交流課、高崎市商工観光部観光課、南牧村振興整備部情報観光課、上野村役場振興課、神流町役場、甘楽町役場、富岡市観光協会、上野村産業情報センター、安中市観光機構・藤岡市観光協会、高崎市観光協会、南牧村観光協会</p>	

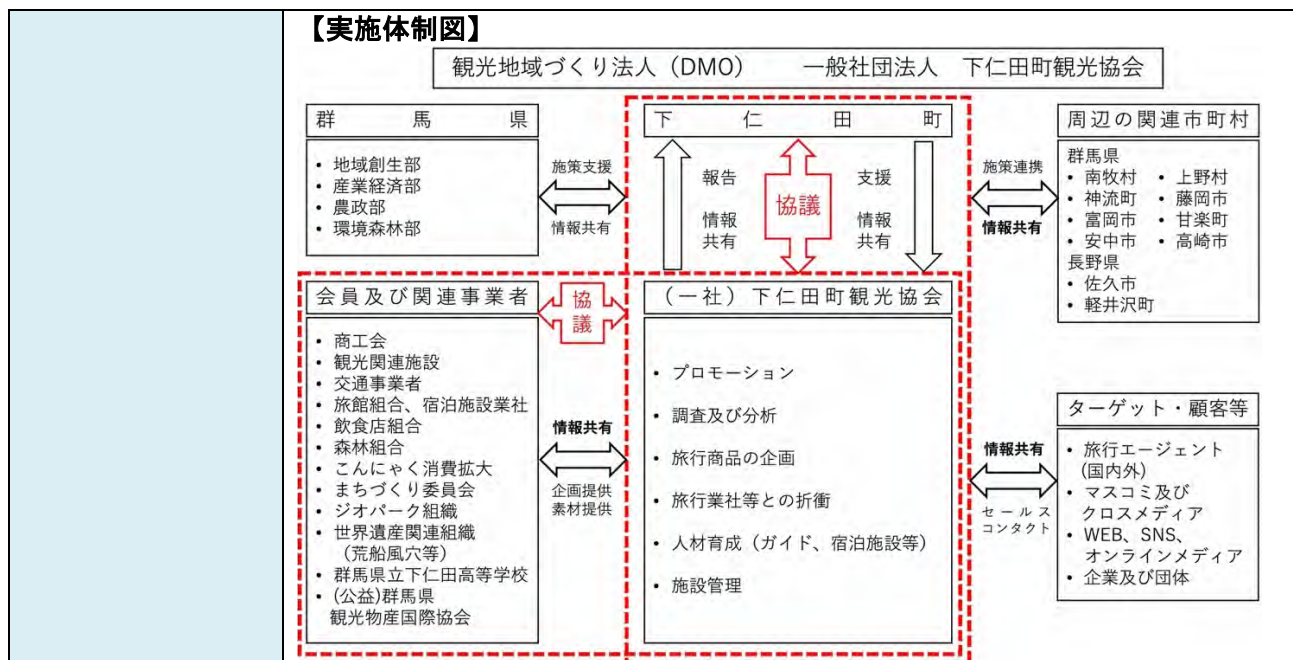
	長野県（軽井沢観光協会・佐久市観光協会） （情報共有、企画と共同開催、プロモーションなどを行う）				
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<p>①DMO事業推進検討会議 下仁田町商工観光課長、高崎経済大学「井手拓郎ゼミナール」井手准教授、こんにやく手作り体験教室講師佐々木氏、当協会代表理事、当協会CMOの5名から成り立つ会議体。当協会の先ずは現状把握、課題等の洗い出しを行い、現時点で取り組める事業を検討後、新規事業を進めていく。また、各検討委員のそれぞれの立場からの経験や意見を集約したことをDMO活動に反映させる。</p> <p>②下仁田町観光協会定期総会 観光協会員出席のもと、事業報告及び事業収支決算報告、また新規事業案及び事業収支予算案を審議、可決された。本年度は定款の見直しを実施、当協会の事業目的を明確且つDMO組織活動に沿った定款変更を行なった。オブザーバーとして下仁田町長、下仁田町役場商工観光課、下仁田町議長、下仁田町社会経済常任委員会委員長、高崎経済大学「井手拓郎ゼミナール」井手准教授、株式会社JTB群馬支店担当者出席。</p> <p>③基調講演会 観光協会員、定期総会出席者、下仁田町役場企画課、教育課職員が出席。DMOの意義や仕組みを学び、当協会の役割について理解をしてもらう第1歩のスタートとなった。</p> <p>④KPI指標の開発及び下仁田町来訪者動向調査 高崎経済大学「井手拓郎ゼミナール」と協働及び連携し下仁田町来訪者動向調査を実施。KPI調査を踏まえた課題整理を行っている。</p>				
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	<p>令和5年度下仁田町観光協会定期総会 基調講演会「DMOの根っこ～根っこを理解し、これからを考えてみましょう～」 高崎経済大学地域政策学部観光政策学科・准教授井手拓郎氏を講師に招き、観光協会員に対し、上記基調講演会を行った。DMOの意義や仕組み、当協会の役割について理解をもらう第1歩のスタートとなった。</p>				
法人のこれまでの活動実績	<p>【活動の概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td><td> <p>・令和2年度 <b>一般社団法人下仁田町観光協会WEBサイト更新業務</b> 当法人の事務局である観光案内所のWEBサイトは、平成26年に開設されている。しかし、コンテンツの構成や多言語化への対応が不十分であると共に、マーケティングの基礎になるアクセス解析の機能を有していないことから、脆弱な状況にあり地域DMOとしての運営に支障をきたしている。このため、求められる機能の拡充やコンテンツを再構成することで情報の品質向上を図るとともに、DMOの運営に必要なKPI指標などの算定根拠となる基礎データの収集やアクセス解析などの機能を有するWEBサイトを構築した。</p> <p>・令和4年度 <b>道の駅しもにた下仁田町観光案内所デジタルサイネージ設置及びコンテンツ制作業務</b> 下仁田町役場商工観光課主管</p> </td></tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	<p>・令和2年度 <b>一般社団法人下仁田町観光協会WEBサイト更新業務</b> 当法人の事務局である観光案内所のWEBサイトは、平成26年に開設されている。しかし、コンテンツの構成や多言語化への対応が不十分であると共に、マーケティングの基礎になるアクセス解析の機能を有していないことから、脆弱な状況にあり地域DMOとしての運営に支障をきたしている。このため、求められる機能の拡充やコンテンツを再構成することで情報の品質向上を図るとともに、DMOの運営に必要なKPI指標などの算定根拠となる基礎データの収集やアクセス解析などの機能を有するWEBサイトを構築した。</p> <p>・令和4年度 <b>道の駅しもにた下仁田町観光案内所デジタルサイネージ設置及びコンテンツ制作業務</b> 下仁田町役場商工観光課主管</p>
事業	実施概要				
情報発信・プロモーション	<p>・令和2年度 <b>一般社団法人下仁田町観光協会WEBサイト更新業務</b> 当法人の事務局である観光案内所のWEBサイトは、平成26年に開設されている。しかし、コンテンツの構成や多言語化への対応が不十分であると共に、マーケティングの基礎になるアクセス解析の機能を有していないことから、脆弱な状況にあり地域DMOとしての運営に支障をきたしている。このため、求められる機能の拡充やコンテンツを再構成することで情報の品質向上を図るとともに、DMOの運営に必要なKPI指標などの算定根拠となる基礎データの収集やアクセス解析などの機能を有するWEBサイトを構築した。</p> <p>・令和4年度 <b>道の駅しもにた下仁田町観光案内所デジタルサイネージ設置及びコンテンツ制作業務</b> 下仁田町役場商工観光課主管</p>				

		<p>公募型プロポーザル実施に係る第1回選定委員会委員として参画。コンテンツ制作会議にも参加し、観光案内所に必要なコンテンツを提案し構築に携わった。</p> <p><b>下仁田町観光情報及び体験コンテンツログ、スタッフ業務ブログ情報発信業務</b></p> <p>HP 及び SNS (Instagram、Facebook、X) の活用。</p> <p>下仁田町の花の観光名所(あぶだ福寿草の里、群馬県立森林公園さくらの里、下仁田あじさい園)開園中、日々の開花状況を現地にて定点観測及び撮影し、正確な情報発信を行なった。</p> <p>その他に、体験参加者の承諾を得て、こんにやく手作り体験や下仁田ねぎ収穫体験の様子を公開、体験コンテンツ魅力発信を行なっている。また、スタッフが対応した業務報告(会議やイベント)をブログ形式で公開をしている。</p>
	受入環境の整備	<p>・平成28年度(下仁田町補助金事業)</p> <p><b>地域DMO主体による西上州モビリティシステム構築事業</b></p> <p>西上州エリアの中心である下仁田町は首都圏から公共交通機関やマイカーで2時間圏内にある。首都圏からの公共交通機関及び地域交通(タクシー含む)と既存及び新規のアウトドアアクティビティや観光ツアー(インバウンドを含む)を組み合わせたシステムを構築する。これにより公共交通などの稼働率の押し上げや観光客の滞在時間の延伸等が見込まれ、もって路線維持への貢献や観光振興を図るものである。</p> <p>・平成30年度(訪日外国人旅行者周遊促進事業)</p> <p><b>軽井沢、下仁田の観光ルート整備事業</b></p> <p>下仁田町から車で約40分の位置にある軽井沢町は、年間約70万人の訪日観光客があり、インバウンド観光客数は隣接する地域の中で最も多く、首都圏と軽井沢町往来で立ち寄るスポットとしての需要が高い。その観光客への観光ルートの魅力創出と街道沿いの地域資源をコンテンツとして整備するとともに、軽井沢町の旅行会社やホテル等と連携し、滞在時間を増やすことで本町への誘客促進を図るものである。</p> <p>・令和5年度(令和4年度第2次補正 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業)</p> <p><b>観光農園「モジョファーム」整備事業</b></p> <p>「道の駅しもにた」に隣接する農地を観光農園として整備した。以前より実施していた「下仁田ねぎ収穫体験」をより手軽で安全に実施できるようになったほか、その他の野菜の収穫体験も可能となった。</p>
	観光資源の磨き上げ	<p>・平成29年度(農林水産省補助金/業実施主体・下仁田町)</p> <p>農山漁村おみやげ農畜産物販促進に係る各種調査業務</p> <p>インバウンド観光戦略の柱として、近代登山の発祥の地として知られる妙義山の登山観光を促進し、外国人旅行者を当地に呼び込むと共に、その発着点を「道の駅しもにた」にすることで、観光消費の増大、農産物などの売上げ及び生産向上のサイクル確立を図るための各種調査、商品の開発などを行った。</p>

		<p>・令和元年（群馬県千客万来支援事業） 神津牧場ミニ資料館整備事業</p> <p>日本最古の西洋式牧場である神津牧場は、長野県県境に隣接しエリアは妙義荒船佐久高原国定公園に指定されている。町の重要な観光拠点で、国際的観光地である「軽井沢」との連携も進められており、観光体験を中心とするコンテンツを増やしているものの牧場自体を紹介する資料や情報が不足していた。このため本事業を活用し、パイオニアとしての背景や意義はもとより、現在もリーダー的な存在であり続けている取り組みなどに係る資料を収集し、それらの情報を多言語によりパネル化して、広く提供することで集客と滞在時間の増大を促し、もって観光振興を図ろうとするものである。</p> <p>・令和4年度第2次補正 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業 モジータウン下仁田伝統野菜「下仁田ねぎ」の核心にせまる“すき焼き体験/日本文化”探究の旅</p> <p>下仁田のポテンシャルを全集中、こだわり抜いた日本食文化の学びと体験型コンテンツ、「究極の SUKIYAKI」体験を造成することで、「地域プライド」を取り戻すチャンスに繋げられるよう事業に着手し、本年度取り組みを行なった。成果としては下仁田に高付加価値な観光資源があることを再認識できたこと、来訪者へのアンケート調査から観光資源のどのような点が魅力的にうつるのかを把握でき、来訪者の目線を取り入れながらその見せ方・遊び方をブラッシュアップすることができた。また、試食検討およびモニターツアーに地域住民も参加。マイナスイメージも含めた地域住民からのフィードバックを得られ、それをもとに磨き上げを行った。本事業に取り組んだことで全国キー局を含む多くのメディアに取り上げられることとなり、大きな宣伝効果を上げることができた。思いのほか地域住民に反響があり、DMOの取り組みを周知するきっかけになった。地域の変化としては、高付加価値な観光コンテンツを作り出す土壌を作れたことが大きな成果である。実施にあたり連携した事業者の中には初めは消極的な事業者もいたが、ツアーを繰り返すことで経済効果が生まれ、最終的には積極的に参画するようになった。</p> <p>【主な体験内容】 伝統野菜「下仁田ねぎ」と地場産業を支え続ける「原木しいたけ」の歴史や生産体制を学ぶ収穫体験 群馬県認定こんにゃくの達人による究極のこんにゃく手作り体験 下仁田産すき焼き食材にこだわり、日本食料理人と共同開発・モジータウン下仁田すき焼きレシピ「究極の SHIMONITA すき焼き」 本事業を活用した持続可能な高付加価値土産物企画開発 高付加価値土産物「究極のすき焼きまん」を企画開発し、下仁田町観光協会オリジナル土産品として、「道の駅しもにた」にて限定販売、又ふるさと納税商品として事業収益に繋げていく。</p>
--	--	--



	<p>・モジヨタウン下仁田モータースポーツ文化アーカイブ調査事業</p> <p>「頭文字 D に係る企画調査会議」を計 4 回実施。</p> <p>下仁田町は「頭文字 D」の舞台である「妙義山」を観光資源として持つ。「頭文字 D」は海外でも人気があり、インバウンド向けアニメツーリズムコンテンツ造成に着目し、企画調査を実施した。調査の中で下仁田町は「頭文字 D」の舞台であるだけでなく、モータースポーツ文化との関わりが深いことに気づき、新たな方向性を見出すことができた。</p> <p>【企画調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下仁田町は 1970 年代よりモータースポーツに精通する人材の宝庫</li> <li>・ヒストリカルブランディングの可能性</li> <li>・他の地域に模倣されない独自のコンテンツとなり得る</li> </ul> <p>【会議の参加主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下仁田町役場商工観光課・企画課</li> <li>・町内在住モータースポーツ有識者</li> <li>・近隣地域モータースポーツ有識者</li> <li>・株式会社 J T B 群馬支店</li> </ul> <p>・WEB アクセス解析を利用した卒業論文研究調査への協力と事業への活用</p> <p>令和 5 年度に、高崎経済大学地域政策学部観光政策学科 4 年生竹内氏の WEB アクセス解析を利用した卒業論文研究調査に協力した。調査には下仁田町観光協会の WEB サイトを使用し、分析結果及びアクセス解析方法のフィードバックを得た。これらを当協会の WEB サイト運営・情報発信や今後の事業に活用することを予定している。</p> <p>【定量的な評価】</p> <p>○農山漁村おみやげ農畜産物販促進に係る各種調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神津牧場ミルクプリン（開発商品）</li> </ul> <p>H30 年度 4,947 個（売上：1,139,350 円）</p> <p>H31 年度 4,513 個（売上：1,098,380 円）</p> <p>○神津牧場ミニ資料館整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無人施設、自由入場のため計測不能</li> </ul>
<p>実施体制</p> <p>※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。</p>	<p>【実施体制の概要】</p> <p>観光地域づくり法人である一般社団法人下仁田町観光協会が母体となり、飲食店組合、旅館業組合、交通事業者、商工会、農業生産者、林業関係者、金融機関、ジオパーク協議会、行政、その他町内の企業など、多様な関係者が参画するとともに、官民が密接な連携を図りながら運営している。</p>



## 2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

### 【区域の範囲が分かる図表を挿入】



### 【区域設定の考え方】

(※長野県の佐久市及び軽井沢町、富岡市、安中市、南牧村、上野村、神流町などの観光関連の団体と引き続き、相互に連携を図り観光振興を推進する。また下仁田町は国内有数の観光地である軽井沢町と秩父地方を結ぶ中継地点に位置している。このため、両地域と沿道の神流町・上野村・南牧村などを包含するラインで連携を図ることで、自然・健康・歴史・文化などを学び体感できる様々な形態のツーリズムの企画と提供が可能になり、観光客と滞在時間の増大にも繋がることから、関連地域における観光や文化の振興に大きく寄与するものと考えている。

また、首都圏・都内の人々をターゲットに、マーケットへの訴求力の拡大や顧客視点からのニーズの高い旅行商品の企画開発に取り組むとともに、これから益々増大するであろう地方への移住定住施策を積極的に支援し、本町を移住定住先を選定してもらえるように取り組む。

**【観光客の実態等】**

本町には、下仁田ジオパーク、荒船風穴(世界遺産)、登山客、神津牧場(日本初の西洋式牧場)、霊峰・妙義山、中之嶽神社などにみられるように、目的意識を持った観光客が訪れる傾向が強い。しかし、公共交通機関が目的地まで整備されていないこともありマイカー客が主流となっている。また、上信越自動車の下仁田インターチェンジから、南牧村、上野村及び神流町などを目的とする観光客のワンストップ中継地点としての役割を持っているが、隣接する軽井沢町方面からの観光客については、あまり訪れていない現状がある。

コロナウィルスの影響により高速バスの減便等があったが、今年度は平常化し、首都圏からの来訪者も回復の兆しが見られる。

**【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】****○観光施設**

- ・道の駅しもにた（重点道の駅）
- ・群馬県立森林公園さくらの里
- ・虻田福寿草の里
- ・下仁田あじさい園
- ・ほたる山公園
- ・山際公園
- ・青岩公園
- ・本宿（宿場町）エリア
- ・荒船の湯

**○自然・スポーツ系資源**

- ・妙義山「石門めぐり」
- ・神津牧場
- ・荒船湖・サンスポーツランド
- ・姫街道もみじライン
- ・下仁田ねぎ畑
- ・登山及びハイキング(荒船山・妙義山・物語山・小沢岳・稲含山・四ツ又山・鹿岳・物見山など)
- ・蒔田不動の滝
- ・はねこし峡
- ・不通溪谷
- ・下仁田カントリークラブ
- ・県道、町道、林道の網羅（カーマニア、モータースポーツ愛好家）

**○文化系資源(体験含む)**

- ・荒船風穴(世界文化遺産)
- ・下仁田ジオパークジオサイト
- ・下仁田町自然史館
- ・下仁田町歴史館
- ・中之嶽神社（妙義山）
- ・諏訪神社
- ・中小坂鉄山製鉄所跡
- ・下仁田戦争跡
- ・上信電鉄
- ・下仁田駅駅舎
- ・赤レンガ倉庫
- ・こんにゃく手作り体験
- ・下仁田ねぎ収穫体験



- ・上州下仁田焼き陶芸体験

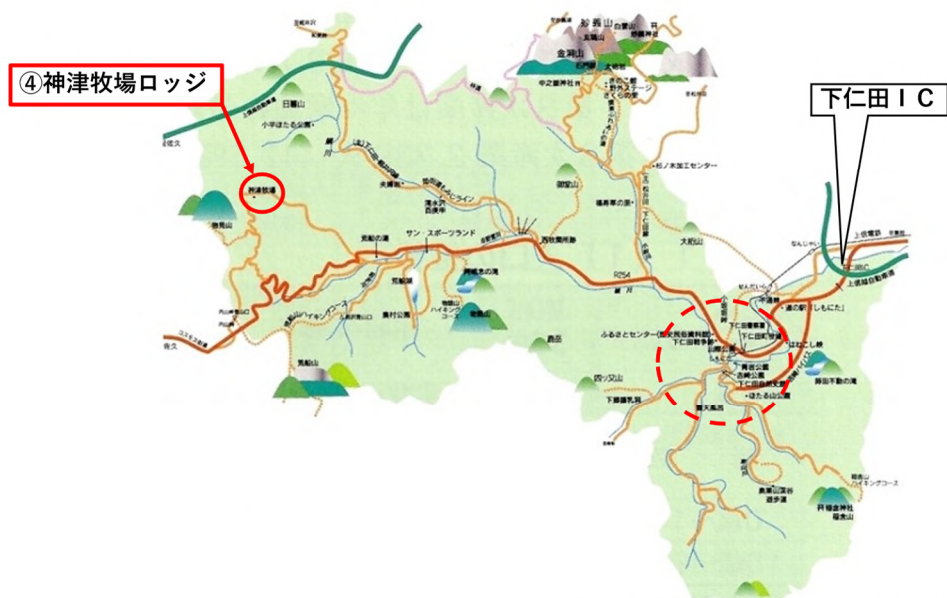
### ○イベント等の資源

- ・蒟蒻大黒天祭
- ・虻田福寿草祭り
- ・山際稲荷神社例大祭
- ・観光PRイベント(さくらの里)
- ・神津牧場花祭り
- ・神津荒船もみじ祭り
- ・下仁田あじさい祭り
- ・下仁田こんにゃく夏祭り
- ・諏訪神社秋季例大祭
- ・カツ丼スタンプラリー
- ・下仁田ねぎ祭り

### ○食・特産品資源

- ・特産品「下仁田こんにゃく」
- ・特産品「下仁田ねぎ」
- ・特産品「しいたけ」
- ・神津牧場特産品（牛乳、バター、チーズ、ソフトクリーム、食肉、加工食品）
- ・下仁田森林組合「木工製品」
- ・上州下仁田焼
- ・下仁田かつ丼

### 【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】



※ 施設①～③は、赤破線内の範囲

施設名	収容力	施設規模	アクセス(徒歩)
① 清流荘	30名	13室、温泉、露天風呂、宴会場	下仁田駅 20分
② 常盤館	30名	6部屋 割烹料理、宴会場	下仁田駅 3分
③ 下仁田館	40名	8部屋、宴会場、会議場等	下仁田駅 5分
④ 神津牧場ロッジ	36名	6部屋、売店、バーベキュー、体験	下仁田駅 50分(車)

### 【利便性：区域までの交通、域内交通】

#### ○公共交通機関利用

首都圏からの公共アクセスは、JR高崎駅から上信電鉄に乗りかえ約60分、(計120分程度)  
高速バスを利用の場合は、池袋・新宿から約120分、練馬・川越から約90分

#### ○マイカー利用

関越道、練馬ICから藤岡ジャンクションより上信越道に入り下仁田ICまでは約90分

#### ○町内の移動

下仁田町の町営バスが全5路線

観光地までの送迎を担うタクシー会社2社

#### ○周辺市町村へのアクセス

上野村乗合タクシーが下仁田高速バス停、下仁田駅に停車

一般道を利用して軽井沢まで約40分(高速道路を利用した場合は30分)

国道254号線を利用して長野県佐久市まで約50分

交通機関名称	内容
上信電鉄	JR高崎駅より約60分
高速バス	新宿、池袋、練馬、川越より約120分
下仁田町内路線バス	全5ルート(中之嶽線、馬山線、初鳥山線、市野萱線、青倉線)
タクシー	下仁田駅に2社、町内観光ポイントまでの送迎
上野村乗合タクシー	上野村まで約50分、温泉施設や観光地に接続



### 【外国人観光客への対応】

#### ○下仁田町観光案内所

- ・外国人観光案内所カテゴリー2取得
- ・施設の予約サービス(周辺地域を含む)

#### ○観光地等の対応

- ・世界遺産に登録されている荒船風穴では多言語対応のパンフレット作成とPR

### ○ツアー・体験メニュー

- ・手作りこんにゃく体験（英語対応可能な職員が在籍）
- ・下仁田ねぎ収穫体験
- ・各種ツアー（事前に申し出があれば、英語対応が可能）

## 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	道の駅しもにた、高崎経済大学「井手拓郎ゼミナール」（アンケート調査）と連携して事業として実施。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	下仁田町旅館組合員にアンケート調査を実施。
観光案内所への来訪客者調査	観光客の動向を把握して、企画立案やサイン計画などへの提言、観光の総合戦略の基礎データとする。	観光案内所でヒアリング等を行い記録、目的別に整理している。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を高崎経済大学「井手拓郎ゼミナール」と連携して事業として実施。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を高崎経済大学「井手拓郎ゼミナール」と連携して事業として実施。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握。事業者へ観光客の動向、ニーズ等の発信。WEBを利用した移住定住相談会等への積極的な参加。	WEBサイトの分析。 「Google Analytics 4」を活用し、潜在的なニーズを汲み取る。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	下仁田町役場担当課と協議連携し、データ収集に努めます。
町内観光関連施設データ	下仁田町の観光産業の特徴やニーズを把握し、総合的な戦略立案に活用するため。	○主な調査対象○ 道の駅しもにた、公共交通機関及びタクシー等、下仁田町自然史館、下仁田町歴史館、登山／ハイキング（荒船山・妙義山などの山々）、県立妙義公園（さくらの里等）、神津牧場、青岩公園、諏訪神社、中之嶽神社、下仁田ジオパーク、中小坂鉄山製鉄所跡、下仁田戦争跡、下仁田あじさい園、虻田福寿草の里、下仁田ゴルフ場、本宿エリア、荒船湖、こんにゃく手作り体験、下仁田ねぎ収穫体験、下仁田焼き陶芸体験、荒船の湯など。 過去の調査成果などがあればそれらも活用する。
食・特産品資源調査及び特産品試食調査	・食（こんにゃく・ねぎ・しいたけ・神津牧場乳製品、食肉加工製品・下仁田カツ丼）、特産品（下仁田焼き・木工製品等）などの資源についての評価、改善すべき事項等に	下仁田ねぎ収穫体験、原木しいたけ収穫体験、究極のこんにゃく手作り体験、究極のSHIMONITA すき焼き体験において、参加者アンケートを実施

	<p>ついて調査分析を行い、事業者と連携し、発展に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お土産品などの評価やニーズなどを把握し、更なる改善や新たな商品開発に繋げる。</li> </ul>	<p>施、アンケート結果を元に事業のブラッシュアップを図っていく。</p>
--	---	---------------------------------------

## 4. 戦略

### (1) 地域における観光を取り巻く背景

本町においても人口減少が進んでおり、それにとまなう過疎化の進行と共に、中心市街地や本宿地域の商店街の衰退も目立っている。全国的な物価上昇の影響もあり、町内事業者もより一層と経営が厳しくなっている。人口減少を緩和していくためには、下仁田町の魅力を発信し、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大を図る必要がある。

今後は、コロナウィルスが与えた経済社会への影響、消費者のマインドの変化などを的確に把握し、観光地域づくり法人（DMO）が中心となり、商工会・交通事業者・森林組合などの関係団体と協働しながら、豊かで恵まれた自然環境と特色ある地域資源（世界遺産・産業遺産・ジオパークなど）を活かし、住民の暮らしを豊かにする地域づくりを戦略的に進める。

### (2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p><b>強み (Strengths)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産「荒船風穴」に登録</li> <li>・知名度の高いこんにゃくブランド</li> <li>・知名度の高い下仁田ねぎブランド</li> <li>・日本ジオパークに認定</li> <li>・近代産業「中小坂鉄山」、「白石工業・白艶華工場」</li> <li>・通年登山が可能な山が多い</li> <li>・歴史上の著名人が訪れている（島崎藤村、伊能忠敬、ウェストン等）</li> <li>・車文化</li> <li>・「頭文字D」妙義ステージの舞台</li> <li>・地域の文化、住民参加の伝統行事が傳承されている</li> <li>・地震等の自然災害に強い</li> <li>・イベント開催が可能である</li> <li>・駅周辺に赤レンガ倉庫の景観がある</li> <li>・道の駅に一定数の訪問者が訪れている</li> <li>・東西に広がる標高差のある町</li> <li>・関東平野の最終地点</li> <li>・首都圏から2時間程度の距離にあり、日帰り旅行に適している</li> <li>・雪害が少ない平野部では積雪等がほとんどないため、1年中ハイキング等ができる</li> </ul>	<p><b>弱み (Weaknesses)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設の収容人数が少ない</li> <li>・来訪者に対して、町内に大規模人数収容可能な飲食施設、イベント施設やコンサート会場がない。</li> <li>・中心市街地に大規模な駐車スペースがない。</li> <li>・目的地までの2次交通アクセスが不便</li> <li>・地域内の観光産業への関心が低い</li> <li>・団体ツアー等の受け入れ体制が確立されていない</li> <li>・国道254号は大型車混入率が約60%と高く、中心部の安全安心な沿道環境を損ねている</li> <li>・国道254号の道路整備が必要である</li> <li>・インバウンド対応のガイドが整備／用意されていない</li> <li>・来訪者向けの案内看板が少ない</li> <li>・人口減少により地域産業全体が衰退傾向にある</li> <li>・商店街等の街全体に活気がない</li> </ul>



外部環境	<b>機会 (Opportunity)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する富岡市の世界遺産富岡製糸場と群馬県世界遺産センター、3大パーク（群馬サファリパーク、こんにやくパーク、めんたいパーク）には多くの観光客が訪れている。</li> <li>・軽井沢まで30分圏内にあり、インバウンド需要が見込める</li> </ul>	<b>脅威 (Threat)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャパンレイルパス(上信電鉄)のエリアではないためインバウンド誘致に不利である</li> <li>・高速バスの本数が少ない。(日中の時間帯)</li> <li>・3大パーク（群馬サファリパーク、こんにやくパーク、めんたいパーク）には多くの観光客が訪れている。</li> </ul>
------	---	---

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

### （３）ターゲット

<b>○第1ターゲット層</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏の小中高等学校及び教育団体</li> <li>・首都圏の企業</li> <li>・首都圏から近隣市町村を含めた観光目的の人たち</li> </ul>
<b>○選定の理由</b> 首都圏の小中高等学校に人気のある、通年催行可能な「こんにやく手作り体験」のコンテンツを保持している。 首都圏からのアクセスの良さ（下仁田IC）もあり、日帰り観光コンテンツとして、「こんにやく手作り体験」及び「下仁田ねぎ収穫体験」のニーズがある。 <b>○取組方針</b> こんにやく手作り体験ログ、下仁田ねぎ収穫体験ログにて体験の魅力、情報発信を行なっている。 令和5年度より、重点「道の駅しもにた」に隣接地に下仁田町観光協会観光農園造成整備スタート。
<b>○第2ターゲット層</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20代～60代の「頭文字D」のファン</li> <li>・カーマニア、モータースポーツ愛好家</li> </ul>
<b>○選定の理由</b> アニメツーリズム事業として、「頭文字D」の舞台となった下仁田町・妙義山（中之嶽神社）の観光資源磨き上げ。 <b>○取組方針</b> 下仁田町商工観光課、企画課、株式会社JTB群馬支店、下仁田出身及び近隣地域出身モータースポーツ有識者で構成する「頭文字Dに係る調査企画会議」を発足。下仁田町及び周辺地域の車文化のアーカイブ調査を進めると共に、モータースポーツを楽しむ観光コンテンツ造成の企画調査を進めている。
<b>○第3ターゲット層</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンドを含む広域旅行者</li> </ul>
<b>○選定の理由</b> 現在、「道の駅しもにた」は観光交通の軸として、首都圏からの1次交通として新宿・池袋からの高速バス、JR高崎駅～下仁田駅間を運行するローカル鉄道の上信電鉄がある。地域における2次交通として人口減少により衰退が予測される町営バスやタクシーが接続している。 高速バス利用者へのヒアリング調査では、首都圏からの乗車賃が安価な高速バスを利用した観光ニーズが確認できた。今後の超高齢化を迎える社会情勢をみると高齢者の免許返納が、更に若者の車離れを考慮すると、公共交通機関を利用した広域旅行者の獲得が戦略的に必要となる。 公共交通を存続するために資源として観光に活用することにより、交通を活用した新たな観光の企画と取り組みによる乗車率の向上と、新たな利用方法として地域交通の維持に貢献する仕組みが求められている。 <b>○取組方針</b> 旅行会社へのプラン提供をはじめ、本町の観光滞留時間を創出し経済効果をあげる仕組みをつくる。



関係事業者、近隣市町村と連携し、多彩なルート開拓、持続可能でブランドを高める活動を行う。

#### (4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>モジョタウン下仁田</p> <p>「モジョ (Mojo) とは、アメリカのスラングで、「くだけて」「物事がうまくいく」「特別な力 (能力)」「運」「お守り」といったように、幸運や不思議な力を意味する言葉である。日本ではあまり聞き馴染めないが、欧米圏では馴染みのある言葉で、他の自治体にはない魅力的な観光資源で溢れる下仁田を表現している。</p> <p>観光＝「非日常」を超える、モジョな「観光魅力資源」が詰まった町を「モジョタウン下仁田」と名付け、地域ブランディングを図る。</p>
②コンセプトの考え方	<p>8つのモジョな観光魅力資源の磨き上げと活用</p> <p>モジョ 1 「中央構造線」と「関東平野」が出会う神秘的な場所</p> <p>モジョ 2 鉱物資源が豊かな大地の恵みジオパーク下仁田 (中小坂鉄山、白石工業白艶華工場)</p> <p>モジョ 3 世界遺産群のシルク文化の盛り上げ役 (荒船風穴、神津牧場等)</p> <p>モジョ 4 ブランド食材が堪能できる食の町 (下仁田ねぎ、こんにゃく等)</p> <p>モジョ 5 スギは下仁田町の町の木 木材資源・文化の町</p> <p>モジョ 6 歴史ある始発駅「上信電鉄下仁田駅」、上信越道「下仁田インターチェンジ」、重点「道の駅しもにた」</p> <p>モジョ 7 群馬の観光名所・「妙義山」と日本一大きな大国様「中之嶽神社」</p> <p>モジョ 8 「頭文字 D」の舞台となった「妙義山」と地域の車文化と車愛</p> <p>5つの取り組み</p> <p>カテゴリー</p> <p>食：下仁田の特産物とオリジナル企画「究極の SUKIYAKI」を造成、日本一の「下仁田ねぎ」や「蒟蒻」の聖地として認知してもらう。</p> <p>体：こんにゃく手作り体験や下仁田ねぎ収穫体験、自然を活用した体験等で日本文化に触れてもらい、下仁田の良さをより深く理解してもらう。</p> <p>歌：下仁田の特色を歌詞に盛り込んだオリジナルソングでイベント等を開催し、下仁田を身近に感じてもらう。</p> <p>催：バラエティーに富んだイベント開催し、下仁田を存分に楽しんでもらう。</p> <p>発：SNS を活用しモジョタウン下仁田の様子をリアルタイムで国内外へ情報発信、訪れてみたい町下仁田への集客に繋げる。</p>

#### 5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	<p>下仁田町観光協会 DMO 推進事業検討会議</p> <p>高崎経済大学地域政策学部観光政策学科 准教授 井手拓郎氏を座長に招聘し「DMO 推進事業検討会議」を月 1 回開催、今年度も継続して行っている。</p>

	<p>下仁田町役場商工観光課長(担当課)に検討委員として参画していただき、共に DMO 事業について意見交換及び事業検討を行い、共通認識のもと事業を進めている。</p> <p>令和 4 年度の会議では、KPI 指標調査について企画検討を行なった。</p> <p>令和 5 年度より、高崎経済大学「井手拓郎ゼミナール」と連携し、下仁田町来訪者動向アンケート調査を開始。KPI 指標に必要なデータ収集、データ分析を行っている。また、群馬県や連携団体等から提供いただいた調査データを会議にて検討し、当協会のマーケティングに有効活用している。</p>
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	飲食店や宿泊施設をはじめとする地域が提供する観光関連サービスに対して、旅行会社や利用者などに広くアンケート調査を実施し、客観的データの取得と分析に努める。分析結果等を観光事業者や関係者にフィードバックする。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<p>情報のワンストップ窓口としての機能を高め、エージェントをはじめ個人観光客等に対する利便性を高める。</p> <p>また、SNS 等を通じて、情報を配信すると共に、多言語化拡散型のプロモーションを推進する。</p>

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

## 6. K P I (実績・目標)

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後 3 年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去 3 年間の実績も記入すること。

### (1) 必須 K P I

指標項目		2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度	2026 (R 8) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	267	267	270	285	285	285
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	239	269	283			
		(-)	(-)	(-)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	3,750	3,860	3,970	2,900	2,900	2,900
		(-)	(-)	(100)	(30)	(30)	(30)
	実績	2,461	3,433	2,816			
		(-)	(-)	(20)			
●来訪者満足度 (%)	目標	55	55	68	55	55	55
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	66.4	77.1	51.7			
		(-)	(-)	(-)			
●リピーター率 (%)	目標	30	50	75	75	75	75
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	73.1	67.3	69.5			
		(-)	(-)	(-)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

## 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

## 【検討の経緯】

それぞれの項目の目標値の設定経緯については、これまでのデータに加え観光地域づくり法人としての役割を発揮しての成長率を見込んでいます。DMO 事業推進検討会議を発足し、DMO の果たすべき役割、必須 KPI 指標について協議し、共有しました。設定後の分析や評価の基礎となるデータ収集の方法等も随時改善し進めてまいります。また、令和 3 年度に見直しを行った組織体制を継続、より効率的で効果的なマネジメントに努めています。

## 【設定にあたっての考え方】

## ●旅行消費額

上信越自動車道、下仁田 IC から約 5 分に位置する「道の駅しもにたは」、平成 27 年度に重点道の駅(国土交通省)に選定されている。「道の駅しもにた」内にある観光案内所(DMO 事務局)を観光の玄関口(軸)として、ここへの来訪者の滞在時間を増やすと共に、周辺観光地へ適切に誘導することで町全体の観光消費額の増加を見込んでいる。そのため、「道の駅しもにた」の売上高を旅行消費額に設定しています。令和 4 年度はコロナウィルスの影響が緩和され则认为ます。

## ●延べ宿泊者数

町内宿泊施設の宿泊者数(町の実績値)や各宿泊施設の収容人数をベースにしています。

## ●来訪者満足度とリピート率

令和 5 年度より下仁田町来訪者動向調査を開始、その結果に基づいて算出。また、群馬県、連携団体等から提供いただいた調査データを当協会のマーケティングに有効活用している。

合わせて、WEB サイトによる分析、アンケートも考慮し、定期的に把握できる明確な仕組み作りに取り組みます。関係者間での情報共有し、課題抽出と課題解決に取り組みます。

※令和 5 年度より独自で「下仁田町来訪者同行調査」を実施している。群馬県魅力創出課の「観光客動向調査結果」と合わせて算出した。

## (2) その他の目標

指標項目		2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度	2026 (R 8) 年度
Web サイト アクセス数 (回)	目標	65,000 (-)	193,000 (-)	300,000 (-)	200,000 (4,500)	200,000 (4,500)	200,000 (4,500)
	実績	161,207 (-)	296,610 (-)	135,463 (4,034)			
メディアへの 掲載回数(件)	目標	25 (-)	30 (-)				
	実績	22 (-)	30 (-)				
Instagram フォロワー数	目標	- (-)	- (-)	650 (-)	850 (-)	850 (-)	850 (-)
	実績	- (-)	500 (-)	797 (-)			
X フォロワー数	目標	- (-)	- (-)	50 (-)	70 (-)	70 (-)	70 (-)
	実績	- (-)	10 (-)	58 (-)			
観光案内所 来訪者数	目標	27,300 (-)	28,100 (-)	28,000 (50)	28,000 (50)	28,000 (50)	28,000 (50)
		24,036	20,173	23,817			

	実績	(-)	(11)	(38)			
移住定住に関する相談件数	目標	90	100	200	200	200	200
		(2)	(2)	(-)	(2)	(2)	(2)
	実績	191	188	311			
		(-)	(-)	(3)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

## 指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

### 【検討の経緯】

本町の観光拠点である、道の駅しもにたを軸として、それぞれの観光スポットへの誘客、今後の商品造成とそのブランド力の向上などを目的として指標の設定を行っている。また、近隣の自治体及び関係団体などとの企画連携及び協働を推進することにより、相互の成長を見込んでいる。

### 【設定にあたっての考え方】

#### ●WEBサイトアクセス数

これまでの観光企画のみのサイトから周辺エリアを含む総合的な地域のプロモーションサイトへのシフトを目指すとともに、関連サイトとのリンクを推進しているが、WEBサイトへのアクセス状況の把握は、利用者の属性、ニーズ、動向・志向などの把握とその分析を可能にする。

観光地域づくり法人として、より相応しいマーケティング環境を構築するため、WEBサイトへのアクセス数を指標に設定した。

※WEBサイトのアクセス数については、令和5年度より集計方法を変更したため、以前の集計値と比較することは困難である。以後は令和5年度の集計値を元に再度目標設定をおこなう。

#### ●メディアへの掲載回数

地域全体で観光振興及び地域ブランド力の向上を図ることを目的にするとともに、地域の方々に観光振興や地域づくりの活動に対する理解を深めてもらうための域内プロモーションに位置づけてメディア掲載回数を指標に設定しており、想定以上に伸びているが、令和4年度で計測終了とする。

#### ●令和5年度よりInstagram、Xのフォロワー数の計測をスタート

#### ●観光案内所への来訪者数

下仁田町の玄関口である観光案内所の来訪者数は、主要拠点で町全体の観光入込客数の約7割を占める「重点・道の駅しもにた」の来場者数と密接に関連している。来訪者数を把握することで、観光客の動向や要望なども得ることが可能であり、観光戦略立案の基礎資料にするために来訪者数を指標に設定している。

#### ●移住定住に関する相談件数

観光案内所は、移住定住くらしの相談窓口が設置されており、移住定住コーディネーターが常駐し町外からの移住定住を望む人たちへの様々な相談を行っている。現状や課題の把握、定量的評価を可能にし、より効率的で効果的な施策を展開するため、新たに相談件数を指標に設定した。目標値については前年度までの実績、今後益々増えると思われる自然が豊かな地方への志向の高まり、空き家の供給状況などを勘案し、伸び率を約1割に設定した。

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

### （１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
-------	--------	----------------

2021 (R 3) 年度	17,601,530 円	下仁田町補助金 10,000,000 円 群馬県立妙義公園管理受託 819,000 円 下仁田町移住定住コーディネーター受託 2,900,000 円 下仁田町フォトコンテスト事業受託 154,000 円 こんにゃく手作り体験事業 73,040 円 ねぎ収穫体験事業 358,540 円 下仁田町観光協会 年会費 582,000 円 こんにゃく手作りキット物販事業 84,150 円 下仁田町防災交流センター貸館及び清掃業務託 304,500 円 観光 PR 事業・その他雑収入 312,300 円
2022 (R 4) 年度	17,831,646 円	下仁田町補助金 8,500,000 円 下仁田町移住定住コーディネーター受託 2,900,000 円 群馬県立妙義公園施設管理受託 2,887,000 円 下仁田町観光協会会費収入 624,000 円 防災交流ステーション貸館及び清掃業務委託 313,563 円 事業収入観光収益 743,298 円 事業収入蒟蒻手作り体験 380,800 円 事業収入移住定住 7,150 円 事業収入ネギ収穫体験 382,260 円 事業復活支援金 1,000,000 円 その他雑収入 93,575 円
2023 (R 5) 年度	28,834,185 円	下仁田町補助金 10,000,000 円 下仁田町観光協会会費収入 626,000 円 事業収入 4,637,300 円 移住定住コーディネーター委託事業 蒟蒻手作り体験料 下仁田ねぎ収穫体験料 物販販売 委託金 3,301,438 円 県立妙義公園施設等管理業務 防災交流ステーション管理委託 雑収入 7,201 円 官公庁補助事業補助金 5,668,358 円 繰越金 4,593,888 円
2024 (R 6) 年度	18,703,982 円 (22,203,982 円)	下仁田町補助金 8,500,000 円 下仁田町観光協会会費収入 709,000 円 事業収入 5,665,000 円 移住定住コーディネーター委託事業 蒟蒻手作り体験料 下仁田ねぎ収穫体験料 物販販売 委託金 3,400,000 円 県立妙義公園施設等管理業務 防災交流ステーション管理委託 雑収入 5,000 円 令和 5 年度繰越金 424,982 円 (補正補助金 3,500,000 円)
2025 (R 7)	25,346,000 円	下仁田町補助金 12,500,000 円 下仁田町観光協会会費収入 730,000 円



年度		事業収入 移住定住コーディネーター委託事業 蒟蒻手作り体験料 下仁田ねぎ収穫体験料 物販販売 委託金 県立妙義公園施設等管理業務 防災交流ステーション管理委託 雑収入 繰越金	6,100,000 円     4,011,000 円   5,000 円 2,000,000 円
2026 (R 8) 年度	26,666,000 円	下仁田町補助金 下仁田町観光協会会費収 事業収入 移住定住コーディネーター委託事業 蒟蒻手作り体験料 下仁田ねぎ収穫体験料 物販販売 委託金 県立妙義公園施設等管理業務 防災交流ステーション管理委託 雑収入 繰越金	13,000,000 円 750,000 円 6,400,000 円     4,011,000 円    5,000 円 2,500,000 円

## (2) 支出

年 (年度)	総支出	内訳 (具体的に記入すること)
2021 (R 3) 年度	16,468,784 円	群馬県立妙義公園管理受託 3,529,979 円 下仁田町移住定住コーディネーター受託事業 3,042,851 円 フォトコンテスト事業 146,324 円 こんにゃく手作り体験事業 691,062 円 ねぎ収穫体験事業 292,606 円 DMO 関連事業 2,914,612 円 観光案内所管理事業 5,064,321 円 観光 PR 事業 787,029 円
2022 (R 4) 年度	15,193,965 円	PR 公益事業 4,150,784 円 観光収益事業 817,864 円 こんにゃく手作り体験事業 995,591 円 妙義施設管理事業 2,918,595 円 移住定住事業 2,966,446 円 ねぎ収穫体験事業 898,112 円 DMO 関連事業 1,660,904 円 防災交流受託事業 785,669 円
2023 (R 5) 年度	28,409,203 円	会議費 116,290 円 接待交際費 79,000 円 管理諸費 636,754 円 税理士・司法書士・弁護士顧問料 事務費 2,826,746 円 車両費・旅費交通費・通信費・消耗品費等 人件費 10,101,092 円 移住定住コーディネーター及び CMO 業務に係る費用

		人件費・賃金等 法定福利費 事業費 観光プロモーション費 物販販売仕入・PR 等 蒟蒻手作り・ネギ収穫事業 DMO 推進事業 連携促進事業企画調査 等 委託費 県立妙義公園内施設管理業務等 負担金 補助事業コンテンツ造成事業費	4,617,075 円           2,349,530 円  346,000 円 7,336,716 円
2024 (R 6) 年度	20,203,982 円	会議費 接待交際費 管理諸費 事務費 人件費 事業費 委託費 負担金 その他予備費	90,000 円 80,000 円 650,000 円 2,619,000 円 9,300,000 円 4,589,000 円 2,465,000 円 396,000 円 14,982 円
2025 (R 7) 年度	22,846,000 円	会議費 接待交際費 管理諸費 事務費 人件費 事業費 委託費 負担金 その他予備費	150,000 円 100,000 円 650,000 円 2,929,000 円 10,900,000 円 5,222,000 円 2,465,000 円 396,000 円 34,000 円
2026 (R 8) 年度	23,666,000 円	会議費 接待交際費 管理諸費 事務費 人件費 事業費 委託費 負担金 その他予備費	150,000 円 100,000 円 650,000 円 3,079,000 円 11,200,000 円 5,622,000 円 2,465,000 円 396,000 円 4,000 円

### (3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

人口減少にともない地域の産業が下降する中で、会員収入を増やすことには限界がある。  
 その様な中、今後の運営資金を確保する手段として、関係事業者と収益から新たな資金スキームを確保する仕組みを検討している。着地型旅行商品の造成についてはテーマ性のあるイベントを複数開催し将来的には定番企画となるように収益の安定性を図る工夫をする  
 また、運営資金確保のための具体的な取り組みは、以下のとおりである。

- ・ 効率的かつ効果な運営に努め、町の補助金に頼る体質からの脱却と自立を目指す
- ・ 移住定住に係る業務の更なる拡充を図るとともに、必要となる運営資金の安定的な確保に努める
- ・ 指定管理業務の受託件数を増やすなど、運営資金の安定的な確保に努める

## 8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

### 【下仁田町商工観光課】

下仁田町は、当町における地域DMOである一般社団法人下仁田町観光協会の提出する観光地域づくり法人形成・確立計画に基づく地域観光資源を活用した取り組みに賛同し、より一層の連携体制のもと、地域観光振興を図ってまいりたい。

### 【群馬県 甘楽富岡振興局 富岡行政県税事務所】

引き続き、関係者と連携して観光資源を磨き上げ、下仁田町を魅力ある地域にしていきたい

## 9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

（例）エリアが重複する●●DMOとは、月に一度の連絡会を行い、各取組の意見交換を行っている。

### 【区域が重複する背景】

### 【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

※重複する活動がないか、第三者から見た際に合理的と捉えられる役割分担になっているか等を踏まえて記入すること。

### 【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

## 10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	津金澤 英美
担当部署名（役職）	CMO
郵便番号	370-2603
所在地	群馬県甘楽郡下仁田町大字馬山 3766-11
電話番号（直通）	0274-67-7500
FAX番号	0274-67-7501
E-mail	dmoshimonita@icloud.com

## 11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	群馬県下仁田町
担当者氏名	林 光一
担当部署名（役職）	商工観光課 課長
郵便番号	370-2601
所在地	群馬県甘楽郡下仁田町大字下仁田 682
電話番号（直通）	0274-64-8805
F A X 番号	0274-82-5766
E - m a i l	kankou@town.shimonita.lg.jp

都道府県・市町村名	群馬県 甘楽富岡振興局 富岡行政県税事務所
担当者氏名	佐俣 潤
担当部署名（役職）	補佐、総務振興係 係長
郵便番号	370-2454
所在地	群馬県富岡市田島 343-1
電話番号（直通）	0274-62-9525
F A X 番号	0274-63-5141
E - m a i l	samata-j@pref.gunma.lg.jp

## 基礎情報

## 【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

群馬県甘楽郡下仁田町

【設立時期】平成26年8月12日

## 【設立経緯】

町から独立し一般社団法人となり、その後DMOに登録

【代表者】代表理事 神戸 康宏

【マーケティング責任者(CMO)】津金澤 英美

【財務責任者(CFO)】野口 幸子

【職員数】7人(常勤1人(正職員0人・出向等1人)、非常勤6人)

【主な収入】下仁田町補助金1,000万円、事業収入463万円、委託金330万、観光庁補助事業補助金566万円

【総支出】事業費461万円、一般管理費1,375万円、委託費234万円、補助事業コンテンツ造成事業733万円(令和5年度年度決算)

【連携する主な事業者】下仁田町商工会、下仁田町森林組合、道の駅しもにた(産業開発しもにた)、ジオパーク下仁田協議会、上信電鉄(株)、(公財)神津牧場、白石工業株式会社、(公財)群馬県観光物産国際協会、下仁田町旅館組合、下仁田町飲食店組合、下仁田町蒟蒻消費拡大推進協議会、高崎経済大学井手拓郎ゼミナール

## KPI(実績・目標)

記入日: 令和6年 4月 30日

※( )内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行 消費額 (千円)	目標	267,000 (-)	267,800 (-)	270,000 (-)	285,000 (-)	285,000 (-)	285,000 (-)
	実績	239,000 (-)	269,000 (-)	283,000 (-)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	3,860 (-)	3,860 (-)	3,970 (100)	2,900 (30)	2,900 (30)	2,900 (30)
	実績	2,461 (-)	3,433 (-)	2,816 (20)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	55 (-)	55 (-)	68 (-)	55 (-)	55 (-)	55 (-)
	実績	66.4 (-)	77.1 (-)	51.7 (-)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	30 (-)	50 (-)	75 (-)	75 (-)	75 (-)	75 (-)
	実績	73.1 (-)	67.3 (-)	69.5 (-)	—	—	—

## 戦略

## 【主なターゲット】

- ①首都圏の小中高等学校及び教育団体
- ②20代～60代の頭文字Dのファン及びカーマニア、モータースポーツ愛好家
- ③インバウンドを含む広域旅行者

## 【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

- ①こんにゃく手作り体験、下仁田ねぎをはじめとする地場産野菜収穫体験、観光農園造成整備。
- ②アニメツーリズム企画調査、コンテンツ造成。
- ③高付加価値な観光商品、土産物の開発

## 【観光地域づくりのコンセプト】

モジョタウン下仁田

5つの取り組み(食、体、歌、催、発信)を連携

8つの観光魅力資源の磨き上げ

## 具体的な取組

## 【観光資源の磨き上げ】

- ・地元特産品「こんにゃく手作り体験」
- ・地元特産品「下仁田ねぎ収穫体験」
- ・地域資源利用「下仁田焼き陶芸体験」
- ・高付加価値体験ツアー「究極のSHIMOINTAすき焼き」

## 【受入環境整備】

- ・「道の駅しもにた」隣接の観光農園を整備

## 【連携事業】

- ・ジオパーク下仁田の可視化  
(観光協会WEBサイト再構築)
- ・町内伝統文化  
山際神社例大祭、  
諏訪神社例大祭の可視化  
(観光協会WEBサイト再構築)



## 【情報発信・プロモーション】

- ・観光協会WEBサイト更新業務
- 観光案内所デジタルサイネージ多言語案内
- JNTO認定案内所(カテゴリー2)
- ・3大名所開園情報及び開花状況
- 開園期間中随時、HP及びSNSにて随時情報更新
- ・地元特産品「こんにゃく」「下仁田ねぎ」のテーマソング制作